武家叢制録

六

ワ3
6534
6

武家叡制録巻 二十五

目録

万札之部

一 沙弥菓子札　寛永二年
一 函手牙除河之札　同十六年七月廿二日
一 御中除河札　同十九年二月日
一 長崎制札　同十一年五月廿八日
一 日光御成河之札　同十九年正月十日
一 法花浦くゝり之札　同十三年二月日
一 きりとゝん札　明暦元年八月一日
一 殘夢之札　同年　八月二日
一 雑事之札　同日

門 ワ 3
號 6534
巻 6

一 御書之次第　　同日
一 雑事一之札　　万治元年十月日
一 御材木覚之札　　明暦四年四月日
一 御城札　　万治元年十二月日
一 雑子格式並所司覚書　　同年　二月日
一 火事場之札　　同年　八月二日
一 寛富川帋之札　　同二年　四月日
一 亥年分馬次除附之札　　同年　十月廿二日
一 御蔵米之札　　同年　十二月廿日
一 御書場札　　正保四年十二月七日

昭和十四年
一月十九日
藤栄

武家叢制録巻二十四

第九之部

一 御書之巣之札

一 御書之巣見おしの者共成ハ不及申
彼方人組之者共年巣〳〵書をのこし見おき
為人ハ所々ハ之文
附新巣見おしの者共年巣〳〵麻
其一倍之年巣
一 御巣書の巣之ハみハ一巣の内まて書を盗
出巣有之ハ曲事之たとハ後日おそ
ゆるしなとの者の不及沙汰一紙無死罪

[illegible]

附り人組[illegible]

一 [illegible]

同[illegible]

[illegible]

右[illegible]

寛永[illegible]

一 [illegible]年[illegible]

寛[illegible]

一 去年[illegible]年他[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

若又[illegible]

民[illegible]

一 不審[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

右条々所[illegible]

寛永十六年七月廿三日

對馬守

[illegible]守

伊[illegible]守

一 臨時札　松田寛永十九年[illegible]

一法國在〻不〻田畑所望ぶる振る入情耕作すし
為之毛換毛有事ハ不申つるため年貢ホ〻廻漂
旗所〻〻曲事〻〻事

六月日

肥前国　長崎

一長崎制札

禁制

一伴天連日本江乗渡事
一日本之武具異國江渡事
一奉書船之外日本人異國江渡海事
附日本住宅ノ異国人同前事
右条〻於違犯之族之者速被処厳科者也
仍而執達如件

寛永十一年五月廿八日　奉行

一日光御成ノ時之札

覚

一宿賃ハ為如御定事
一自他〻宿札之制事
一晴天ノ時駄馬ノ中へ面道具ハ不入ハ但之ハ
若事
一御法之不美於器量ハ之者帰宅ハ振ハ
一供者〻対御法ハ中ハ拘法之中ハ外
之入事

附船差支之節 伊達と流 ゝ下船する事 宿に
為て乗入事
但し
寛永十九年四月十日

一 伯國浦しらべ
定

一 三儀ゝ無之浦伯者に風強く船出
方助成と出し 船頭 船を行と 黄へ
被仰付 行と 船を 船頭 入精 て 乗し 伯者 浦 船 入

二十分一流 百姓八十分 一但 門無 百姓 三十分一流
百姓 二十分一 共 ゝ
一 浦 ゝ 百姓 ゝ 時 ゝ 船 ゝ 不 漁
て 代 変 元 屋 出 合 を 穿鑿 無 百姓
ゝ 書付 法文 て 出事
附 浦 ゝ 者 ゝ 合 百姓 ゝ
為 ゝ 浦 ゝ 者 ゝ 浦 ゝ 人 ゝ 旅
ゝ 死 長 長 一 浦 八 ゝ 科 家 一 ゝ 月 十
迄 て 出 ゝ 事
右 ゝ 条 ゝ 仕 ゝ 寛永 ゝ
長 ゝ 八 ゝ 他 ゝ 人 ゝ 出 ゝ
浦 長 ゝ 科 人 ゝ 八 ゝ 仕 ゝ

[illegible]

寛永十年二月[illegible]

奉行

一[illegible]家つゝ事ハ[illegible]年[illegible]浦[illegible]
御代官[illegible]浦役[illegible]
仰出之[illegible]
伊[illegible]
[illegible]

一伊天連[illegible]　　銀三百枚
一仏[illegible]　　銀五百枚
一同宿[illegible]家つゝ　　銀五百枚
[illegible]

右之通為農[illegible]
[illegible]
仰付[illegible]
明暦元年八月[illegible]

一銀[illegible]

定

一寛永[illegible]銀[illegible]
[illegible]
[illegible]
年[illegible]
[illegible]

一大小者ともに後ふくろ〜なるまつ 後新恩後世の
ふて撰ら差撰ら後と押て作ふ者ら者ら
八或ハ二百二百 或ハ十ヵ年金てあ子叮ら
ら科 同第ら
一新後ら義ものきら有ても世ら天ら ふて陽ら
遠犯ら事者ら八和ら後
一新後ら 作ら八 御今者後恩後或新後
求歎後ら ふて ら拘事
一御科私風ら毋年貢収納ら 出家ら
ふてお者事

右条〜望ておらら〜ら〜仍ら概重ら件
明暦元年 八月ら 年形

一雑事ら札
定
一喧嘩口論令停止事自後有ら付 初ら端ら一切ふ
て出ら事
一後ら後ら行死罪者ら切ら 行ら外ら地金ら
一火ら変ら 者ら後人 兵ら 外ら地条但
後人ら者ら者ら者ら
一武士ら 侍ら義ら 海中ら小ら 船ら
一事ら 一切ふて 抱知ら事
一一事ら ら 後人ら ふ 但 堪忍 ら 事ら
事
一人 賣買一四停止ら 差撰の事ら者ら八分 定

或死罪等之事或ハ亡ものゝ跡事
附口入日蔵之事
一年季之内一限十ヶ年より十ヶ年迄ハ一ヶ曲
事及
一自古之所領之在来他家ゟ出来年久
在之事ゝ共ゝ科無之所ゟ
自侍可為侍之事
一主家ゝ為を侍付侍人ゝ之形と町奉行ゟ
裁判可為之事
一不可過之門之外顔をふり包候ハゝ
一ヶ曲事
右条々定之事ハ仍如件

寛文十ヶ年

奉行

明暦元年八月ゝ

一侍ゝ為給ゝ扶

定

一浅野内匠頭一結果費用之事
一江戸より西川迄結宮一結ゟ果之分ゝ
之条八七十七文 板橋ゟ宮ゝ八十文
ゟ為ゝ宮之分ゝ之条ハ三十文
同前之
附浅野之家ゝ断絶之者有之ハ三十ヶ年之
之町奉行ゟ之科ゟ之ハ自家一ヶ百迄

て出す事

一人馬に御番を於仕る者に被仰付書付し
御一通を人もふて出す事

一御伝馬拾貫匁迄馬を物第一て出す但拾貫
ハ多入用ハ仕る者に儒者に無拾貫

一往還に出る所に関所を設ける
に付分て出す事

一往還に出る札に四方に関所を設ける
に又対往還に出る於脇方中に曲事

右ハ寛文元年月日 仰付被遣候
明暦元年月日 奉行

一雑事三ヶ条

一人奉公一円停止より差掟有之候共其保証
をもち或死罪等会或追科に成事

一附口入口銭を限て十ヶ年迄ハ曲
事

一男女拾五ヶ年を限て十ヶ年迄ハ曲
事

一いろいろ之頃迄に有事ハ
右銭ハ在之書ハ
呼返銭一為停止

一毎月ごとに不拘
科無之

一江戸より西門一結一対一
さし出る拾貫目
出る毎ごとに奉行ハ一結一対

拾貫目ずつ出す事

一御代官並拾貫目宛の者共より御年貢米の内八斗ずつ御下げ渡しの為隠米致すとも兼ねて無之哉

一人足に宿の者共人馬を出す。

宿の者共に隠米致すとも人馬を出す。

隠米致すとも人馬の儀は御代官を伺ひて相渡し申すべく候

拾貫目ずつ御代官に伺ひ相渡し申すべく候

一宿貫に事新代致す

十文ずつ人馬賃銭宿貫以下御定に不相成候ハ、

一人馬に付宿貫以下御定に不相成候ハ、銭を百文ハ

三十ヶ宿合せて三拾貫目に相成申候

宿文千ヶ所に家一軒ずつ百文ずつ出す事

一御代官に拾貫目宿の者共に拾貫目

札場に入付て出す所ずつ在て不申候ハ、

出す事無之様に宿風の村も一出す事

一往還に出る者に対し面倒とお肴ハ出さず義に付拾

文又往還に出る者に対し家の族船頭中に於て

下ル曲事及

右ハ御代官共之儀ハ取建申候

万治元年十月　平行

一御樹葉類之儀

一山御樹葉類毎年間ニ御用ニ成申ス一切出ス事

一御殿屋敷等拾山ニ成ル事

一洪水ニ付御樹葉ニ間ニ御樹葉の儀ニ付ス事

出ス事ハ御殿ニ御樹葉ニ付ス事

右条々一ヶ月ニ三度ニ差出ス遠方ハ隔月ニ

御用ニ付御樹葉ニ付ス事

以上

一御樹葉

条々

一茶場ニ而毎年荷物揚ル時毎ニ茶除ス

御用荷物ニ茶ニ成ル度ニ掃除ス

一大船ニ荷物出ス中ニ揚ル小船ニ荷物

ニ成ル度ニ掃除ス

右ニ付ス平生ニ掃除ス

一河ニ成ル事

附高所ニ一切の屋ニ成ル事

一河ニ成ル事毎年拾不足代御樹葉ニ

之儀ニ付ス御殿ニ成ル事

右ニ付ス遠方ニ成ル事

行事と不延書こゝて自然荒掘
御ゆるし字有ゝ之長屋ゝ之長科ゝ之
万治元年十二月　　年行

一雑子格蓋屋不言有

一他所ゝの男十人ゝの内長屋ゝの内一切
入屋ゝさゝる事

一所ゝより門ゝ内長屋ゝの方ゝ法度ゝて今度
親類縁組ゝ之外ゝ接客ゝ致ゝ申ゝ間敷ゝ
ゝ申ゝ不到ゝまゝ以ゝ書面ゝ申ゝ入ゝ事
出合ゝ仕ゝ女房ゝ共不ゝ及ゝ申ゝ事

一人宿ゝ切仕ゝらすゝ有ゝ一夜ゝ之ゝ宿ゝ申ゝ間敷ゝ事

十月廿日

一三人ゝ此ゝ屋ゝ敷ゝ不ゝ門ゝの外ゝ言ゝ義ゝ仕ゝ何ゝ
ゝ申ゝ間ゝ敷ゝ事　世人ゝ此ゝ之ゝ内ゝ
一昔ゝ六時ゝ後ゝ之ゝ事ゝ　ゝ之ゝ人ゝ之ゝ書ゝ
ゝ事ゝ之ゝ如ゝ俱ゝ義ゝ之ゝ事ゝ
毎ゝ月ゝ此ゝ所ゝ之ゝ仕ゝ
右ゝ之ゝ書ゝ之ゝ事ゝ
書ゝ之ゝ中ゝ所ゝ之ゝ決ゝ有ゝ
英ゝ法ゝ伊ゝ藤ゝ等ゝ
於ゝ江ゝ戸ゝ之ゝ書ゝ之ゝ
万治二年六月

一火事場言有

条々

一 火事之節御[illegible]のやく[illegible]火消[illegible]
警固有之[illegible]役人[illegible]
[illegible]之外一切場所へ[illegible]
事

一 火事之場へ下々[illegible]
[illegible]一切[illegible]
[illegible]及[illegible]付候事

一 自今以後火事之場ニ而[illegible]
[illegible]町奉行所へ[illegible] 若[illegible]
[illegible]
と[illegible]出[illegible]

其科とゆるし[illegible]
[illegible]有[illegible]出[illegible]
[illegible]事

右条々可相守之 若[illegible]有違犯之輩ハ[illegible]
科者也 仍下知如件
一[illegible]年[illegible]月[illegible] 奉行

一

一 [illegible]川筋高札

定

一 [illegible]川筋[illegible]
[illegible]日[illegible]
[illegible]人[illegible]出[illegible]

元禄十年

一自今以後不可[illegible]と[illegible]を[illegible]
用[illegible]有[illegible]て[illegible]段在[illegible]に[illegible]
[illegible]

通事

一[illegible]

右之相守[illegible]

[illegible]

万治三年[illegible]月[illegible]日　年行

一[illegible]元年[illegible]

条〻

一[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

附人馬[illegible]

[illegible]

年寄[illegible]

一[illegible]

人足伊豆と西で御送り
一長柄千俵三十貫目と限り大小荷物
物々拵て通り通り千人足を金壱貫目に荷物
て三十貫目々々人足二人宿り泊り泊り
拵、壱貫目にて作り人足減少有て一荷の荷
物にて准ず事
一無拵荷物壱貫文宛に荷物一駄に付賃銭
四拾文宛に成申候
右等一切差遣背て族発育て公儀
後日無事と申ても仇用を恨申或百姓
義倉に為致科与申候仍為御稟
万治二年 月 日 年行

一清米義元
定
一御義米は旅て清切米出結取に実名札木
に成て万事ふ化法にて其村義元
雑三年に一度宛出す事
一米ふ渡し米俵のうへのかり文俵まとふて付
事
附清義屋敷へ用不申して人る共ニ切
通さる事
一俵まりの時一番宿に三番宿の六三合
升月ホ一度に俵中
右可相出社名通者実於有て云不

岩神ゟ
享保二年十月廿七日　奉行

一清蓮場花
定

一清蓮場ニ於て相蓮傳ひ之外諸事勝生
いたす去年之情文之通り可被
一清蓮之由を清蓮つゝみを行れし勝生いたす
ものあるといふとも見出し次第改を依其仁相
屋敷まで送屆を上相手ニ不届ニ而住
為ゟ可ゟ出ス於て者ハ之と位不申有之
為ゟ出ス也ハ位ニ不届ニ而自然見のし

岡のうすゝ於て者其村中の者出さゝのうへ
て為る曲事ニ
一夜中ニ勝生いたすものあるハ夜ゟをいて
て為ゟ出ス為ゟ出ス共十ヨリ於て者
手鉄ヲ切ル事ニ不届ニ為ゟ出ス者ハ
限ル式ヶ之内田畑を一ヶ年事
享保四年十月十七日　奉行

武家叢制御巻二十六

目録

一万札之部
一きり方之札　寛文元年　月廿七
一河越場札　月八年七月
一三年付法印傷之札　月十三年三月日
一法印札　延宝元年十月日
一同所　月六年　月日
一右利支入札　月七年　月日
一走り之札　寛文六年六月廿
一年渡場札　月年　月
一五之丞新兵衛関東札

一同不法之儀　一　日　七年宝永二月
一きりしたんれ　日　十六年　七月
一五年付之次條付之儀　日　二年八月
一同断　日　八年　七月

武家厳制録巻二十六

一きりしたんれ　万れ之部

一きりしたんれ　定

一きりしたん宗門之事　四年　改令制禁法令之儀絶
可為寺之若不審成者在之者中出へし　張　二百枚
但天連の所人　張　或百枚
ふ[illegible]の所へ　張　五十枚
同宿等宗門の所人
みな[illegible]宗旨[illegible]へ[illegible]年自拙
[illegible]亜他[illegible]
五人組[illegible]曲事[illegible]

如件

寛永元年六月十六日　重行

一川越場札

乗〻

一洪水〻節ゟ〻淺深ハ出〻候ハ共川越淺と定〻ハ元〻ゟ定〻ハ
支〻

一尚町の外他所ゟ罷出る川越の分同様ハ
並川越〻外ゟ〻ハ〻〻事

一川越の〻の入用を河〻〻番〻〻ものと分配〻
致〻事

右条〻〻於遠背ハ陣法ハ
処厳科ハ之

寛文七年正月廿二日　重行

一五年分弦貸場札

五年八月大雨ニ墨ゟ出る人ハ川ゟ弦貸
弦ニ〻〻り分る五年文ハ京ゟ荷を人ハ
ゟ〻小の〻ハ三年文人足賃ハ〻〻人ハ
〻〻ものと

寛文八年七月　重行

一清場札

山場ハ往還〻丹後ゟ〻〻積〻丹後帯通〻

定へ申すべき海ちゑ所のこと永代停止
可仕候事

寛文十二年子三月　　奉行

一同所

条々

一代官所ならびに藩地掘こと時々堀浚之儀
ちゑ藩に申付事

附藩地掘の事に付て新田
一大藩地掘に入る申上百姓こへ申付
掘ると限へし藩地掘新田
ていの事おなへし藩地掘永こ不立様
事

附藩地掘の附拵当時修復上こと

一所こ申ちゑ藩地に於る芝海と藩地の間よ
れを区別ちゑ芝道筋よりおよそ拾間
あめて拵こと於ていまだ無事
右条々堅不過者こ者相違こ遣者こ張
於者こ者度こ処罰ものこ

延宝七年十月　　奉行

一きりしたんの札

定

一きりしたん宗つこ義異事法制業ちゑ
法以所絶ものこ被仰出候こ自是之書成之者こ

一戸出浦ゟ[illegible]て
伊天連の所へ　浪三百枚
いるこんの所へ　浪百枚
同宿共家の所へ　浪弐枚
みな〻こゝ様不[illegible]ゟ[illegible]〻[illegible]知仕不[illegible]ゟ[illegible]
ゟ[illegible]て〻〻の内仕まて一曲事候
右〻通嶋滝ゟ[illegible]ゟ[illegible]ゟ[illegible]ゟ[illegible]
ゟ知為科ゟ不[illegible]　依之仍如件

延宝六年　月　日　左衛門

一　[illegible]ゟ[illegible]札
　　定
一　公儀ゟ無ふ[illegible]ゟ[illegible]　弘法私〻に遣紙[illegible]付ハ
助無を出〻[illegible]ゟ[illegible]　[illegible]ゟ[illegible]
一　無破損〻付ゟ[illegible]和を[illegible]き浦〻の出船を入[illegible]
無異ゟ[illegible]　[illegible]
二十分一ハ[illegible]ハ十分一川あゟ[illegible]ハ十分一ハ
[illegible]ハ二十分て[illegible]
一　沖ゟて[illegible]ゟ[illegible]付れ[illegible]
不〻代[illegible]
[illegible]無異ゟ[illegible]
附無ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]
一　[illegible]ゟ[illegible]

改日和漕戸早く出あいてくすべし去る今
組浪人の方の舟と承届て浦々地頭代官へ
急度下知致事

一 御城米まいす時ふなくつくり舟ふて積し米船
船前若於途中破損ふ沖へ流て為曲事
為日和をくり出中ふ舟曲ふ有之ハ
下知出ス船頭共科ヒ申ス可
てくわく是又ハ船ふ乗ふ
一 自然米船并為ハ揚屋〜
米年迄ハ為ふ毎ふ揚屋事ハ
万一右ふ日数ふ過ふ為ふ船出ふて返し船ふ
ふ有ふ地頭代官ふ注事

一 漕賃勘ふ猶〜法度ふ有ふ
右条〜ハ先紀伊ふ於ふ若悪ふ仕ふ
ハ下出〜ふ為ふ浦ふ注ふ
順ふ注ふ〜ふ
延宝七年三月 年行

一 乗〜
一 乗〜ふ有ふ船ふ毎ふ忘出ふ
ふ勤ふ事
一 他国ふ米船ふ
ふ子ふ入港ふ
米ふ猶ふ

一馬と毎年祭礼之事
右条々遠背ハ後々為要と可心得者也
寛文六年十二月廿三日　重行

一寺院新居屋敷札
定
一往還之道端ニ而笠巾をぬき通る
つきもの
一京都ハ女の人ニ笠帽の子と云ふ（但
女の子ハ青き者ハ見せ申ス
出家つれ法大名往還ハ京ハ右ニ立ル
下ハ乗ル乗ル下ハ乗ル　但ふ番ハ義ハ

一為者別事
一殺生し後おそ江流文て通ス事
右の相守申ものハ仍件
寛文六年
一同不言札
私曰ク水ハ言札同文ニ也但寛文七年ニ二月
十八日
一歳星ニ人改修付札
条々
一きりしたんの宗門ハ法令制禁今以ての外堅
仕て連と指後ふ修ス後ハ殺ふ法令
ス俄ニ停止ス

一頃国漁師等作成者と付証不審有之事
為ニ為ニ入ニ証ニ陸ニ国永遠
風波ニ紛紜之儀ハ早速中人数不陸
地ニ堅書と分別ニ段落之事
一不審成者と為ニ第又ニ中の者と陸
ニ為ニ者ハ訴人の言不応ニ
ニ陸ニ之儀ハ酒流教令相糺ニ信ニ
ニ事

寛文十二年七月ニ

一 巳年分馬沢藩附札
去年不ニ法ニ分ニ接ニ地者ニ八木大
豆ニ五俵宛ニ宿ニ之段国窮ニ付方ニ

何方ニ結ニ銀ニ結ニ て何ナ何文ニ等を為人
ニ日ニ為ニ為ニ て ニ ニ ハ何ナ何文人ニ
為ニ ニ人ニ て何文何方ニ結ニ何ナ何文
の ニ 為ニ人ニ ニ 日ニ為ニ ニ ハ何ナ何文
人ニ為ニ ニ人ニ て何文何ナ何文 て ニ ニ の

一 同断 寛文六年八月ニ

巳年八木大豆ニ五俵宛ハ江戸ニ下川迄結銀
銀一結ニ付て米ニ斗ニ為ニ ニ ニ ニ 日ニ為
為ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ
又ニ ニ ニ ニ

寛文八年七月

奉行

武家叡制諺卷廿七

同諺

万打ち部

一 雑事三ヶ条　天和二年六月日
一 切死丹　同月日
一 少分訴人病流　正月日
一 少事分法高賣相違　正月日
一 病人并病馬於後日停止　正月日
附　仕度口之書　同日
一 捨馬法停止　貞享二年十月
一 鉄炮打病流　同年二月
一 辻打　正月日

一貸地田畑賣買札
一捨子御制禁札

御印　四月
元禄三年十月

武家叢制録巻二十七

万札部

一雑事ニ付札

第一

一毒薬並似世薬往来賣買ニ成候ハ堅禁止ニ候
於高賣仕ル者ハ行晒科ニ可申付候
所人ハ出家ハ名主庭長ニ可申事
一似セ金銀賣買一切停止ニ候ハ自然相聞ハ
於て者ハ両者屋ニて打つぶし其ヲ通ス
其ヲ使ヒ金銀似セ金銀ハ金ハ銀ハ者ハ
つかひ改ル事
附似セ物ハ不ル事

一寛永の新銭金子あるを買文の海を渡るを
を買文 所科 私所 収納わる定め
負数 くきり
一新銭 いまの通 免なして一円
不可 常有 為罪科事
附 古銭似銭古銭 所 撰 事
一新銭 有る書物高貴 数 事
一銭色 高貴或一所 賞金 合る
事 事
一銭職人中合銭科 賞 すす
為 詮堂 為曲事
右条 遠 族 有 可

元禄歳科 之 仍 件
天和二年 月日 奉行

一きりしたん
一きりしたん宗門 寄年 御制 自死
審 有 中 ～ 御 ～ て
てきんの 所人 銭五百枚
ゆるきんの 所人 同三百枚
立くりの 所人 同 ヒ
同富 宗門の 所人 銭 百枚
右 通 ～ 元 たる 同富宗門 ～ 用 ～
所人 出 条 ～ 銭五百枚 ～ 亜

他所より問ふまでは於て其所にて名を書
終て一切の事を延歳科とする
事行

一火付人嚇張札
完

一火を付たる者を訴人する者有之
ふるを其者をゆるし急度申付
強意を以問ふをいとまなく申付事
一火を付たる者を見付捕る早く
〳〵申付る筈
一問ふ〳〵きものなくば寄繋町奉行所早く
石連可申事

一火事之節地車等たわらに荷物積の事
中すまし長力授成よろすまし事
一車長務員人の後停止すべき車長務役
高賣仕る者いかにも〳〵よろしからざる者仕る者
右之通於相背者曲事
正月

一火事付高賣拘申度札
之度火事之付高拘申度之由相笑仕る者
之以後申断申度仕る者相背者之為
曲事者
正月

一病人并病人を預り或御停止札

一 惣而人宿又ハ牛宿其外ニても生類煩ひ重り
候得ハいまた不死内ニ捨候由粗相聞候、右之
不届成族有之候ハ急度可被仰付候、密々ニて
ケ様成儀在之候ハヽ訴人ニ出へし、同類たりと
いふとも其科をゆるし御褒美可被下候、以上

正月

一 同日 御出覚書 正月

口上覚

今度書付出し候ニ付、其上若又とも二人ニ而悪
事申出候而町人者町奉行地方者御代官及申
節ハ寺社奉行寺社方ハ地頭ニ訴可申出候、以上

正月日

私日本ハ札ニ致置すへしとも此度ニまつも出来候
儀ニ候とのみ

一 捨馬等停止札

覚

捨馬之儀付候ニ付御出候ニ付日も捨馬仕候
者有之ニ付急度可被仰付候、御代官ニ被仰付候
流罪ニ御付候、向後捨馬仕候者有之ニ於ては可被処罪科
候事

十二月日

一 鉄炮打嘱託札

覚

一 此日頃ニ鉄炮打候者有之由相聞候、不届之至之

差ゝく〳〵重〻密可致申事ゝゝ

一鉄炮打之ゝ捕ゝ者有之

銀三百枚

一同断之申ゝ所人ゝ出ゝ者有之

銀弐百枚

一鉄炮打ゝ者見合之見届之富ゝ者在所中

出ゝ者ゝ有之

銀百枚

右之通御鷹場ゝ御国郡ゝ御代官ゝ御領主ゝ

科を申ゝ付ゝ可ゝ申ゝ者也

貞享二年　巳二月

一过札

元

川節鷹狩之ゝ中ゝ捨ゝ中札ゝ去年ゝ中後鷹狩

於ゝ場所ゝ者ゝ宮ゝ内ゝ共場所ゝ近不ゝ捨者有之

ゝ由ゝ御船ゝ元人を旦ゝ那ゝ方ゝ内ゝ

向後鷹狩於場所ゝ前ゝ捨ゝ中ゝ者ゝ

事

亥四月

一貨地美田高　壹貫札

元

一貨地取ゝ者年貢ゝ之ゝ内ゝ地ゝ畑ゝ田畑ゝ

者ゝ年貢後ゝ不動ゝ者有之ゝ者ゝ不取

ゝ之ゝ内ゝ停止之事

一田畑永代賣買ハ以前ニ仰出し通ニ付制禁ニ
右之通堅ク相守ル者ハ於相背ハ厳科ニ
午四月

一捨子ハ制禁札
元
捨子ハ以前制禁ニ付ハ代受ハ代私ハ其
者ハ其人ハ科ハ代受ハ代私ハ其
村ハ名主ハ人組町方ハ名主ハ人組ハ其
ハ中ハ教育ハ行ハ
ハ捨子ハ仕ハ者ハ急度ハ為曲事ニ
午十月

武家叢制録巻二十八

同録
第札之部

一馬徒之札　戌十月日
一ハ普請場札　寅七月日
一同ハ　十二月日
一同ハ　午七月日
一彩幾ハ停止札　未二月日
一路次病人有之時之札　戌
一辻札
一同ハ　巳十月日
一寄東山中焼炮改札　九月日

一 郷中鉄炮改札　辰七月日

一 古金買〻御停止札　未九月日

一 江戸近邊殺生御停止札　未

武家厳制録巻二十八

高札之部

一 馬継之札

本傳馬百疋並助馬まて出拂馬無之時ハ [illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

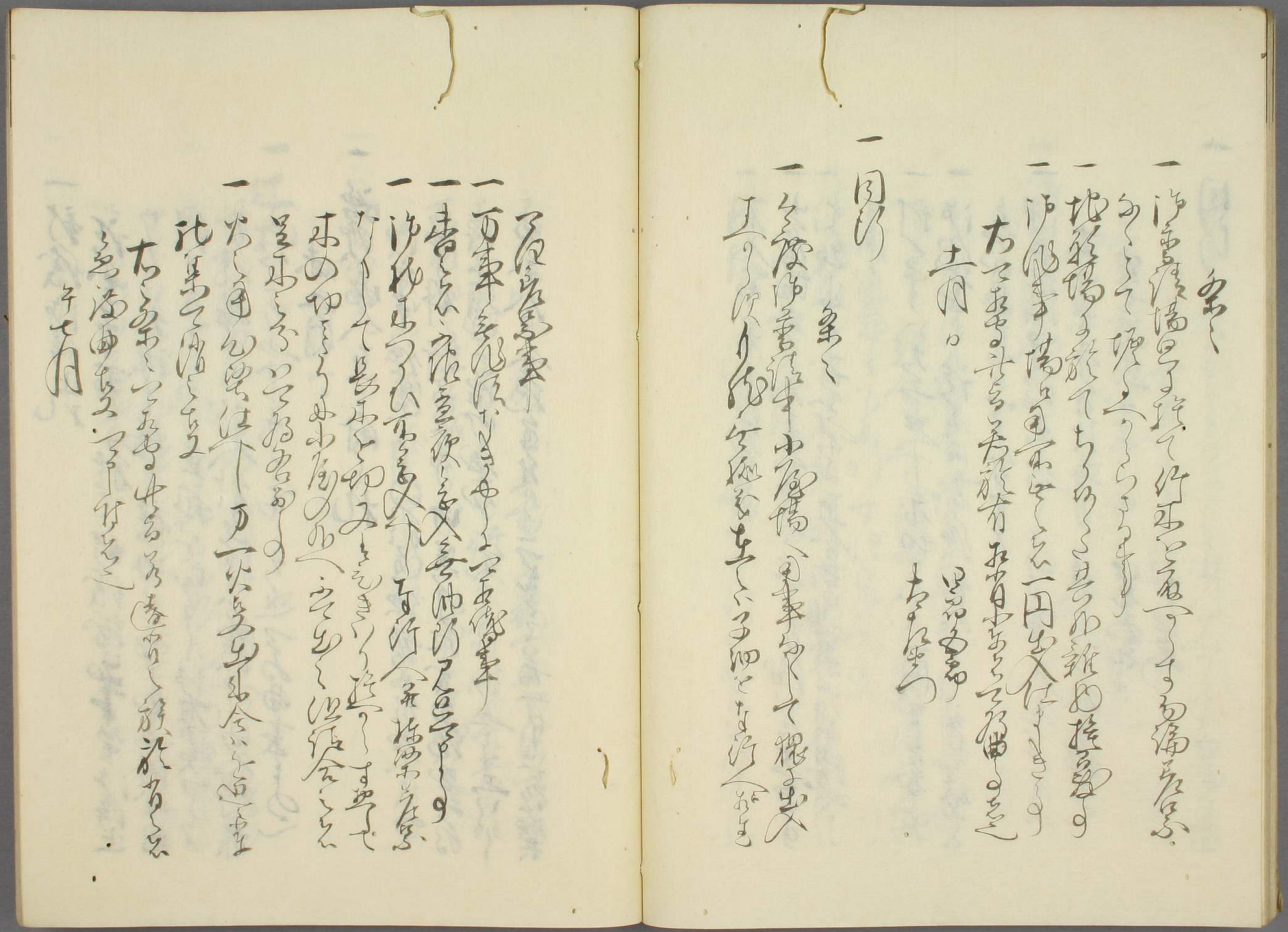
一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]



一 新銭御停止札

諸国在々所々ニ於て新銭鋳出之事御停止
たり然処鋳之族有之由相聞之條今日
後ハ弥令停止訖若違犯之輩於有之者
可行罪科訴人ハ雖為同類其罪を免日罪
ゟ於之者其所之者迄可為曲事者也

未二月

一 諸浦唐人来時之札

江戸中諸道具之類道具類水銀等ニ至
迄之事何方ニ而も商売之儀勿論可有
停止候ニ付町屋等ニ而かくし置候ハゝ
当座令露顕候ハゝ其一同ニ一類迄

不届族有之ニ付てハ急度可被行罪科
若於違背ハ其所之者迄可被行罪科之
事附り自然隠置他所ゟ露顕之者ハ
其所之者迄可為曲事者也

右可相守之

戌九月日

一 辻札

諸国在々所々ニ而猥ニ徒党を
企或ハ其外不届之儀於有之ハ
急度可申出候其上ニ而可有褒美之
旨可申聞者也

五月日

一 同断

廿五日被仰出候ニ付捨子致し候ハヽ急度可申付候
州之儀ハ勿論其外最寄之ニ付
右之通相背候者有之候ハヽ町奉行所へ可申出候家主も
並ニ其所之者共迄可為越度候
ハヽ其之通可被相守者也

巳十月　　奉行

一 箱根山中捨子之儀
箱根山中筋以前より捨子之儀不届之至
猥ニ捨子有之候ニ付勿論其外
之儀ニ付其所之地頭代官并村役人共ニ
不届之事ニ候間急度捨子之儀
箱根山中捨子有之候ハヽ

地頭代官并村役人共捨子之儀ニ付申渡候
一 其人ニ捨子之儀ニ付候而毎月
申ニ而其所捨子之儀ハ其所之者共ニ
外ニ捨子之儀ハ申ニ不及候間村役人
ともニ其相談之上ニ而所之村役人共ニ
捨子ニ付其所之者共ニ而宜敷取計可申候
之者ハ其之通可相守候者也

九月日

一 御中捨子之儀
箱根山中ニ而ハ其所ニ而百姓捨子之儀
其外之儀ハ捨子有之候ハヽ其所之
者共ニ而其之所ニ而其所之者共ニ相心得可申候

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

右之通[illegible]

[illegible]

[illegible]

未九月

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

武家歳制御巻二十九

同御

雑之部

一 諸城人江穿鑿之儀　明暦二年十二月日

一 火事付雑事江御法　同三年正月廿二日

一 辻番所御条目　万治二年二月　日

一 鉄砲御条目　同三年八月廿二日

一 御移徙之時御城中石連縄出之御法　同二年九月

一 同　　同日

武家歳制録　巻二十九

雑之部

一　盗賊人御穿鑿之儀

一　年貢中　在之而之御料私領共ニ定組
毎年貢中　付之　耕作商賣ヲ以　御年
又ハ金銀ニ切之　越米ハ廣ヲ以法度ト
不組合ニ成ル　旅宿之者迄
厚ク　若江之波宮ヲ　服ス
ヲ於ても　若新新ヲ　不及沙汰
名之人組之穿鑿之　科之　
死科ヲ行之　一夜泊ル　
ヲも　其行有　事之　人組

於ては御法度之事

附盗人之類へ宿を貸し後日ニ露顕いたし候ハヽ

付参り候ハヽ其由早速役人へ相届可申

地頭代官奉行所へ書付を以可訴出

若又隠置不届ニ候ハヽ可申付事

一 行方不知浪人一切抱置申間敷 但親類縁者

成浪人ハ格別ニ候とも在所名主五人組

へ申上可受差図事

附悪党人欠落者なとハ其外何ニ而も見出申次第

速ニ地頭代官江可申届 若見のかし候ハヽ

後日露顕ニおゐてハ名主五人組共ニ可為曲事

一 不叶用事在之御城下へ出候者ハ御制札之通可相守

して地頭へ切々申出可申候 若隠置

若有之ハ其五人組地頭代官江

申出ニ付而悪事族有之として可為曲事也

一 在々所々ニおゐて盗を遂候を

致し在郷中ハ勿論隣村迄盗人見出し声を

立候ハヽ村中ハ不及申近郷出合早々追懸百姓

中合候而当沙汰すへくなり 自然見のかし

候ハヽ方ハ出合候ハヽ後日ニ露顕のうへ

可為曲事 盗人之事 於ては不及次第

其百姓並町人ニ而も可為曲事也

附出家山伏并行人之類も慥成者を除き

旅人并盗人の宿を借り又ハ同類ニて在之者

[illegible]ども[illegible]波流先祝在来族[illegible]又ハ由諸在[illegible]
但[illegible]若[illegible]ハ[illegible]ふ但[illegible]又一切ハ[illegible]事
一在[illegible]所[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
代変ハ[illegible]穿鑿[illegible]ハ[illegible]
事[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
不[illegible]穿鑿[illegible]
一[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]
人[illegible]
[illegible]
[illegible]

一山中[illegible]ハ[illegible]
[illegible]
教生[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一在[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一[illegible]

奏合せんき仕切と出し候たび毎に者共
はとい申ものふて遠国に為合申渡候人数に
ふて為曲事之
右条々 御料私領共に在之村々
名主百姓共人組毎年正月十日と限り証
文を以て毎年申上候ハ可申候
御代官ハ毎年地頃に成候ハ為新検
明暦二年十月日 奉行

一 火事ハ雑事ハ勿論
之

一 毎度焼失し候屋敷ハ町中割ニ有之候

一 同屋敷ハ焼失ハ出来ハ
屋敷ハ焼失ハ用勿論
ハ
一 家ハ或ハ素ハ定ハ在ハ
物ハ
ハ
一 浪人ハ
大切ハ
一 小屋ハ

一此間山林ハ在て面々堂々ハ成共商賣
下賤之徒流浪之輩山林ハ法度可仕
事

一一事ハ事ハ慶長年中出吉之節ハ拾
慶之事ハ付て先之通惑ハ給
拾ハ合拾ハ不足ハ拾ハ拾ハ
俗ハ在家ハ刀脇差ハ無之事

明暦三年四月廿日

一辻番不御免

定

一辻番ハ武人ハ四人ハ不苦ハ動

不行ハ者ハ老人老弟之ハ
ハ已元ハ者ハ在ハ於て一切ハ遠ハ
一ハ中ハ一時ハ一度ハ町中ハ見ハ者ハ
者有ハ八ハ辻番ハ遠原事
所行ハ少事ハ町中ハ早ハ
ハ事

一振舞ハ有ハ者ハ先ハ声ハ近ハ来ハ
ハ出ハ合ハ捕事
所番ハ於てハ
一辻番ハ四人ハ
右事ハ
月番ハ

出府し右月番之方迄一所中出合相談し
一水深深川新田之儀今迄打捨置申候
万治二年　三月　日

一　紀元年御御事

元文

一　元年より元年迄酒造之儀不年之分
一　酒造株御年　御績為　酒造株　耕
他株　紀在之年　株ハ八百と費十人ニ千
酒造之儀江戸京都大坂堺其外名所有
之所在有之年江戸ハ株之事数
と共有之　株ハ江戸ハ株之事数
株ハ七百　白海新新酒屋酒造株

為於後遠者右給人法度越度ニ万一
密ニ多他事江戸ハ出ハ穿鑿之
之事より江戸警固の市者之為ニ
以又ハ之と申株之儀酒屋ハ江戸
最新事
一　耕作株之儀百姓之困窮之事
八百株之事
一　元先年ハ江戸ハ村之民之株
不株之儀株年貢之紀ハ一江戸曲事
一　在之儀酒造場年内ハ麦と
之中
一　廉株之儀白海取米取打入千通

たる人々さる事

右事ゝ為成ゝ申付ゝ者ゝ

万治元年八月廿日

一御移徙ゝ時御城中ゝ右近侍者ゝ浮船

大日御門内右近人数ゝ

一國持衆ゝ始諸侍浮船以上ゝ面ゝ出仕ゝ時右近侍

之人完ゝ

一同ゝ長屋ゝ方右近ゝ面ゝ出仕ゝ時右近

侍或人ゝ

一法番所法橋ゝ右近侍或人ゝ

一御ゝ元ゝ小姓ゝ元右近侍或人ゝ

一中ゝ元ゝ以ゝ者会役人長屋ゝ番元侍人

完ゝ

一長ゝ医師長者番ゝ医師右近侍或人ゝ

ゝ医師八人完ゝ通ゝ事

右御ゝ長屋九人挿者人但面ゝ前

八人長者人長者ゝ

一紀伊殿水戸殿尾張殿

長者ゝ面ゝ右近侍ゝ人

完ゝ

ゝ法ゝ

長者人半ゝ通ゝ事

以上

寛文九月日

一同

徒下馬下乗ニ付遠人数
侍　六人　六人或ハ四人
小人　四人
揮毫持　四人
茶屋ニ
西ニ付ハ三人宿ニ
右ニ通ニ付通ル仮令西ハ大名ニ付
ハ不通ナレ共千石
三九月ト
乗ニ
一ニ度目ニ家百人又ハ五十人ハ武士ハ平生ニ
百五十ニ上ニ乗高ニ

一於西丸城中　仮令若年寄ニ
中ニ付ニ武士ハ家ニ
ニ付多ク
一ニ殿ニ山城ニ家ニ
見ニ
一於城外ニ家ニ
一大番組ニ家ハ殿中ニ
通ル

右ニ家ニ武士ハ
寛永十九年ニ月十二
松平主殿ニ
松平山城ニ

大番所中

武家叢制部巻之中

同部
雑之部

一 居屋敷石垣腰板葺ニ仕候儀無之書
一 寺院造作ニ付御免
一 鉄砲事 倹約ニ付御条
一 新屋敷内造作ニ付御条
一 町人屋敷ニ新同 嫁取義付板葺ニ付御条
一 町人刀ニ付仕候 但 細工人ニ仕候儀
一 百姓法花ニ付条目 寛文八年二月
一 堺町本渡町新宿 同年六月
一 大工町人法花宗ニ付御条 刀脇差ニ付町

一焼失し寺社地は元の如く仰付　申十月六
一切寺院法度の儀仰渡
一寺社領御朱印之内少分仰付　寛文六年二月朱
一酒造無之ゆえ仰付　戌九月日

武家叢制抄　巻三十

雑之部

一石屋浦黄信之儀仰付覚書

元

一長屋塀下石垣之儀為大風向後之地震
石垣より二尺之内但有来分ハ仕来之通
築直り付連し地つゝ石垣より仕事
一長屋塀腰板之儀ハ向後ハ陸奥大
風仕来之通揚申　惣く波すてゝ
一三万石以下家臣之儀為諸役之訳
三〇人ずつ長屋不苦に付家来と
仰付置り付ハ不苦に付家来と

一寺社造作ニ付願書
元
一梁行京間三間と限り但桁行六間半
一仏壇は京間三間と限り
一出方三間京間三間まと限り
一小棟作ニ
一賀本作り上の絵様ニ
右之通願書厳重ニ仰付候間
願書ニ認ニ作ニ差支ニ作ニ
相成ニ付ニ仕事行ニ取掛ニ
二月

一新出事渡物仕願書
元
一之度出事渡物と書ニ拵ニ
願書勤続ニ付ニ
右月代願書ニ
百姓近ニ内ニ
一国持大名ニ
願ニ
一諸年寄衆ニ
願ニ
一法国ニ酒造ニ
ニ定ニ

百疋より千疋迄之内ニ而可致候 但千疋ニ而
之名酒ハ樽弐ツ迄ニ而も不苦事
一 嫁娶之節衣服小袖代柳樽代ハ可為無用事
一 婚礼之節引越道具書札并祝言書ニ而御法度之品
衣ニ而名元御免之外ハ鉄之儀可致
一 新江戸見而有之品鉄之事 使ニ而名別書状
江戸書付之出荒堂役持参文迄
一 家居門造作之儀
覚
一 楼作之事
一 格戸之事
一 附書院之事 并何ニ而も欄間之類

一 彫物組物之事
一 結構成木ニ而杉板之事
一 床縁并さんかまち塗物之事
附 唐紙張付之事
一 棟門之事
右之分可為無用 右条々相触候の趣可相守
三月 日
一 町人居作事ニ付婚嫁娶之家付相触候處
覚
一 町人屋作致候ニ付 杉戸附書院欄間彫物
組物無用 床かまちさんかまち塗もの 并から紙
張付停止之事

一同松山船金沢浦の内給米中百姓事
一概要之別帳事 城相作 仕候事
附刀拵拵者の 金銀事
一町人家敷之内仕来候場所者渡物仕候者
相減 相相 之事
一町人共振舞 相拵 仕候 仕候 二
付 菓子 之 振舞 相拵 仕候 概要 之 付 之
但名を 仕 之 品 事
一金銀之家敷之内 板 の 通 之 月
之中金銀 拵 而一円 無 之
一家礼之家之 之 治 振舞 仕 仕
一葬礼仕事 法 者 徳 事 月 之 之 仕 者 と

停く 仕 事
右之通 江戸中 従 町 行 不 御 為 仕
意 以 之

月 日

一町人刀 所 停止 分 細工人 市 御 之
一町人 預 陸 奥 山 技 物 之 の 刀 帯 之 江戸中 他 細
法 要 仕 者 無 御 免 許 者 不 制 外 之 変
一町人 屋 作 共 家 敷 仕 之 御 約 概 相 作
仕 変
一 従 行 方 前 繪 及 見 法 他 之 無 利 事 地 無 金 給 之
之 無 切 金 及 見 四 度 仕 切 之 仕 之
右 之 通 町中 之 変 之 御 為 之 自 今 以 後 遣 者

[illegible]

一百姓法色法事

[illegible]

一世間[illegible]　作[illegible]在[illegible]所[illegible]この[illegible]義不仕
農業[illegible]小[illegible][illegible]迄[illegible][illegible]常[illegible]心[illegible]
油断なく[illegible]

一[illegible]百姓[illegible]小自今以後[illegible]屋作仕
[illegible]ず　但[illegible]町[illegible]宿仕[illegible]

一百姓[illegible]如法度[illegible]書[illegible]小
紬紬布木綿紙百姓[illegible]木綿[illegible]
[illegible]常[illegible]紬[illegible]百姓

男女共上衣[illegible]紬[illegible]紬[illegible]
上染可[illegible]

一百姓食[illegible]常[illegible]雑穀[illegible]一八[illegible]振[illegible]

一[illegible]主[illegible]百姓男女共三[illegible]一切[illegible]停止事

一[illegible]と[illegible]

一切[illegible]

一神事[illegible]或[illegible]葬礼事[illegible]佛事[illegible]略礼法
事[illegible]

[illegible]

[illegible]

形ニ成屋ニ人但建ニ家処無事ニ
寛文八年二月

一堺町本後町新吉原清左衛門

覚

一堺町本後町魚屋清左衛門
信濃本作ニ茂ニ但茶屋宿之手伝ニ
給仕遊屋清ニ
致停止ニ
附茶屋ニ清ニ
茶屋ニ
一人形遣来ニ清左衛門ニ
押置ニ

一堺町本後町屋ニ人形斗為帳ニ金沢ニ
出合張為百姓町人相手ニ
附機ニ幕ニ
一新吉原屋敷ニ
屋敷ニ
一新吉原ニ
附茶屋ニ
一新吉原ニ
但茶屋ニ

右年〻ハ[illegible]
寛文八年三月廿
一大工町人請負普請仕候ハ[illegible]
し[illegible]
一大名[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一[illegible]
[illegible]
但[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
月日
一焼失し寺社地[illegible]
[illegible]
一新地建立し寺[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一南[illegible]
[illegible]
[illegible]

仮上

申十月十三

一博奕中火消ス時ハ下知状

笑

一博奕中火事ニ到火消ス所ニ仕ル彼家来火ヲ消ス所各面々縄ヲ懸ル彼ヲ仕ル事

一表ツ書ツ出ス在ル共火消後ハ身ノ迯ル自然露顕仮後ハ有ル門ハ金火事ニ付ル門ハ金ヲ引ル分ニ云ル所ハ論ス辨乃ル門ヲ明ル所ニ西ノ方ハ

後書

一夫ヲ火消ス人ハ夫ヲ出ス事ハ

大合事

仮上

一寺社方ハ下知ス時ハ

一御書家御三代ハ御下知ス事ハ

覚

御右代ハ御下知ス事

下総国ハ御下知ス事

一寺社領ハ地頭ハ

ハ寺ハ御下知ス事

石遠ハ出ス

一寺社ハ

今年二月中江戸ニ出ル御代官手附抜書
可相伺ニ付ニ伺ニ付ニ
上年附書ニ付ニ
寛文六年二月
一酒造
一諸出作ニ不成年ニ造ル酒米多く
去年ニ造可申
望ニ付ニ
一毎年田畑ニ

武家叡制録　巻　二十七

目録

一　雑々部

一　殿中　法度　　慶長十年八月十日

一　所司代人々法度　　寛永十年七月廿六日

一　勅定　　戊寅十二月

一　御中　法度　　寛永元年十月廿六

一　諸家法仕組　　元和三年十月廿六

一　不寄々命　上使法下知　　寛永十年八月廿六

一　法度書中　法度　　同十六年九月廿六

一　法度仰付る々元　　月日

一　法度書中　法度　　寛永十二年二月

一御城中御[illegible]人接条々　同巳年八月十六
一殿中御条目　元和八年十月廿四
一[illegible]人出勤仕法御条目　寛長十四年巳月

武家厳制録巻[illegible]

雑々部

一殿中御条目

条々

一於殿中被仰下忠節ある者ども其外合戦
其人に対面[illegible]事
一於殿中一所に寄合る雑談者ども[illegible]
云々事
一御茶坊おいて[illegible]
一御給仕衆御次し当番人ばかりの[illegible]
[illegible]事
附当番[illegible]の長御[illegible]

一国暴象蔵ものひ所有るとすると以下方
在ることを以て殺ることの事
一御用書状調ものして物書並（家）ものすべき若党
傍より問ものすして殺ることの若党ものを族
ものを密かに（）自て今用捨ものを加ものもて
事変
一強作の口ものを安ものもてわたること 仕業ものもて
一移除の下密ものもて
附小役不ものを小役すものものさること事
右ものを密ものを密かに役ものを於ものを殺ものを
自殺今用捨ものを族ものを族ものもて
曲事ものの

慶長十年八月十日
一所人ものを殺害ものを捨案ものを
定
一浦代官不給人百姓同者ものの出ものを
重行人代官並浦人ものを捌ものを並ものを捌
分ものを於ものを所ものを重行人代官ものを殺
して所ものを族ものを殺害ものを裁許すものもの
附田畑地山ものを殺害ものを裁許すものもの
殺害者ものを或死罪或重科ものを科ものを
一寺社領ものを百姓同者ものの出ものを代官（家）捌
ものを殺ものを並ものを捌 抱殺ものを於ものを
代官ものを所ものを裁許すものもの事

一 [illegible] 経有之中 掾石事 仕候事
或宰会或之科宰会口数之代之数之代
科し候事
右の相ち[illegible]之仍概之科
寛永十年乙酉七月十日
一 [illegible]年 浦賀
[illegible]
一 [illegible]年間年在[illegible]不[illegible]耕作[illegible]不仕[illegible]
枝木山[illegible]分[illegible]弟[illegible]費[illegible]酒造[illegible]
京都[illegible]枝[illegible]良 [illegible]不[illegible]
年[illegible]年[illegible]仍[illegible]造[illegible]新[illegible]
酒屋一切[illegible]停止[illegible]
[illegible]

浦賀[illegible]度[illegible]為[illegible]度[illegible]多[illegible]事[illegible]
[illegible]下人[illegible]出[illegible]浦賀[illegible]
[illegible]ふ[illegible]
[illegible]仍[illegible]浦賀[illegible]行
[illegible]科事
一 耕作[illegible]不[illegible]
入[illegible]仕[illegible]事
一 先年[illegible]仍出[illegible]民[illegible]
[illegible]不[illegible]年[illegible]
一 [illegible]不[illegible]浦賀[illegible]
[illegible]
一 麻[illegible]
成十二月[illegible]

一御中間

定

一従前為仕分人組合を入て取扱ふ事

一在来不悪意を極り仕切り合者を除き

為仕番を在来之宗繁を人組に為申候

長崎一件の為ての曲事

一不審敵とのよう有之ハ自然ハ知て

かゝる事ハ有之ハ長崎人組

仮令親類縁者ハ

御科 私儀ハ或親田或御中間等の

在来ハ之ハ出不申と雖ハ

於長崎ハ之事

一御中間より出ても又高麗より行ハ先長崎

長崎不と長崎人組より之ハ相分申

一在来不登城之者等悪意之者ハ

出仕仮令雖ハ同新田之科を以

為ハ雖ハ通不申 御人在来宗繁之人

組之内海長崎ハ

親類縁者ハ

一方ハ右通ハ

一在来不者豊玉等

於之ハ出ハ相分長崎等の

地代代長崎

屋敷にて百姓農業にて暮し候人を集め入候て掘捕候に成候、
お墓に居候者不申候、掘捕に成候者の〻見の〻に成候ハ
〻に為申事
一在〻不〻悪業有之候ハ〻村〻にて出候て掘捕之申農業にて暮
若し成ふ出合ハ仕中之の穿鑿之上申曲事
一悪業捕〻刑地に代度之有之候ハ〻
右連申行人に成候ハ〻後事入用後
右様〻在〻不〻空敵族在之切〻悪業

〻〻に事給人〻に申代度〻出
思召に悪業不致〻悪業穿鑿すへ〻若〻
次法世間悪人有〻〻〻給人代度
〻〻悪世間法度〻〻給人〻
寛永十巳年十月廿六日

一御公儀法仕様〻

元

一越後國辰年御年貢米之儀に御座候年内年貢
米上辰〻年貢御掛米入〻
一他國〻米毎年御掛米行
一之度改出〻辰巳〻毎年御掛米〻〻事

一郡奉行所ニ而ハ御[illegible]ニ付[illegible]
[illegible]ふて看病[illegible]事
一郡奉行所ニ[illegible]
[illegible]
[illegible]
一男女年寄ハ[illegible]
[illegible]事
一六十枚[illegible]
[illegible]事
一[illegible]
[illegible]

一小比叡山悪僧英勘[illegible]
[illegible]事
一上山田村ニ[illegible]
一河原田村ニ[illegible]
[illegible]事
一小木浦より[illegible]
[illegible]
一小木浦ニ[illegible]
仕置[illegible]
右[illegible]
[illegible]

一所書之前　上使中へ御申渡知条〆

条〆

一之度取書有る面々之内西之人出之二日滞在お遣す
一往復之節往来出し信牌受取之数之通無之
一信牌の儀為先文次第事
一年貢米を以て来接待
一米を方々元つゝふ男女〆取地遣送而
之之中面々之通之為渡代
附渡代ハ元一貫男女〆於毎年之渡代
勿論〆〆

張目市九郎

右条〆依仰渡之外
寛永十年　月　日

数〆
出羽
伊豆

上使中

一御書渡申御条目
条〆
一唐船口海賊制禁之事若背違輩族ハ海賊
双方ニ処断罷勿論ハ為後日ニ書ニ付而人〆
一相行事中分有之者唐人後ニ及沙汰仰令改令

過料中ハ事ニ為曲事ニ
一自然喧嘩口論大事ニ在之時役人ニ不一切ニ
ふてを集ル
一押賣押買法事ふて狼藉ル
一人過ル義停止ニ於有ハ越ル普請ハ保ニ而法
ニ但重科ニ在之普請ニ行ニハ戒法ふて私ニ
致ス人事
右ニ相守ハ者ニ而法事ニ普請ニ行ニ長崎
ニ申付ル
寛永十六年九月十六日

一御朱印伝馬ニ御掟

元

京ハ町ニ在之江戸ハ人馬 御朱印ニ而相無ハ
不及出法大坂御定書ニ而町ニ行法文ニ
ニ相無ニ細ニ載文ニ在之夜中ニ而無ニ
ニ在之人馬ニ行人怪敷ハ文在ニ在ふ伝夜中
ニ在無ニ在之ハ法文ニ在ふ方明ニ穿鑿ニ
ニ在無ニ在之世ハ夜中一切ふて無ニ在ル

月日

二宅成ル七月廿
太原史次郎廿

英法
史後

一御普請中御条目

条々

一喧嘩口論堅制禁候若有遠国族ハ不論理非双方ハ番所籠可申候ハ其番ハ主従共人事

附於行事ハ方有之普請以後ハ及沙汰候

一今度有道理中之事ハ為曲事之

一自然喧嘩口論大事ハ在之時一切ハ不可

地集事

一普請之組ハ対組中万員倫類不可致之

他之組之論所之事或組之内ハ拾之成候

組中仕一味恩事ハ在之度

一不可論太場

一猥ハ不可伐採山林毋無ハ作法

一押妻押賞法事ハ猥藉

一人返之義停止之於有中越之普請相済一所法

但重科之人ハ至普請行之但長崎万事

不可致私之出入之

右ハ為世者之

寛永十二年

一御城中御門之人接番

見

一御裏門之出入之義御書之外一切ハ無之

一下々ニ札銭一円ふて無之ニ付
一御お屋敷ヶ屋ヶ用者ヲ何ものゝ使者ハ対
之札ニ付ものハ右改人を添御墨付書付を送り屋
敷ヶ改事
一西ノ丸御年寄衆より之用ニ付て使者ニ付之札
人を付御墨付書付を送屋敷之ヶ中改事
一西ノ刻以後之一切出入ハ行ヶ次役御お屋敷
御用ニ御使者通ハ右同様見ニ付ニ成之
吏も右改御墨付書付を送り屋ヶ中改事
以上
寛永元年八月十六日
一殿中御番帳

一当番不参之事改易ニ成
一番帳御番刻以前ニ参ル者ハ其年の知行石之ニ
一席番ニ参ル者刻以後出仕ニ成ル者ハ席銀ニ成
一代番ニ詰取渡ニ事 相ヲかゝ成ル ニ同番
番見又同前事
附糸勤ニ刻限生糸ニ成ル者ハ席銀ニ成
一当番ニ参ル者ニ用ニ事ニて他ニ参詰ル者事
ハ科銀ニ成
一当番ニ西ノ丸当番之用有ニ付番所横目ふ
中限ニ成ル ハ改易ニ成ル
一ニ成ル ハ科銀ニ成

一夜陣の儀有時は御鑓先を立申す迄科限二枚

一惡く事

たとえ無い死罪の人を流罪申人を殺

し申迄科限十枚但書元の文の通

一何事ゝ

或死罪或流罪又は迄科の時申ます

一書付組付を書て中分若しくは家有之に

於ては組中より迄科申ます但事ゝ

科ゝ

一法度の事ゝ門ふ中ゝて不行とし行時ゝ

ゝ云ゝ必毎月毎日ゝ法度ゝ居悪ゝ事有

投票但年寄共ゝも中渡度

一於城中又は惣家小者何事ゝ申ます御法度

を背又は不行事ゝ有之申人ゝ取役員ゝ

其外ゝ書元敵対ゝ迄科限死

右条ゝ堅可被申渡者也

元和八年十月十五日

一在之人御法度条目

完

一侍ゝ事ハふ及沙汰中ゝ小者ゝ申ます一番者ゝ

一切無ゝ事

附在之人ゝ無ゝ事ゝ

一新参の者ゝ存分ゝ堅申ます但ゝ事ゝ

切米をもれなく相渡すべき事
ゝゝ之儀を以て
一御書付御所御役人の儀又ゝ改使ゝ法有
ゝ時脇を先ゝ義ゝ為致度事 但ゝゝ存寄
無之ゝゝ
附寄衆中法度ゝ人ゝ方六尺一円抱置ゝす
若有お遠ゝ之科重ゝ成ゝ者ゝ出ゝ事
右条ゝ堅ゝ相守ゝ可ゝ者ゝ
寛文長十四年 卯月二日

文政三年庚辰十二月廿三日寫竟　玉田成胤　岩波延能　浅見忠和
常見直節　藤田延喜